

資料の概要

ここでは、昭和 60 年度の入学生に対して、学年進行につれて勉学意欲がどのように変化するかを追跡調査した報告書と、著者の 41 年間の軌跡を収録した。この報告書は 20 年以上も前のものであるが、学習に対する意識や取り組み姿勢などは、現在調査してもあまり大きな違いは見られないではないかと考えている。

(1) 高専入学後の技術者志向と勉学意欲

[平成 2 年度文部省高等専門学校振興充実促進経費による出版]

これは、昭和 60 年度の入学生に対して、1～4 年の各学年で 11 月上旬に同一の質問項目 (41 項目) で調査し、学習に対する意識や学校生活への適応状況が学年進行によりどのように変化するかを追跡調査したものである。その変化と、入学時の目的意識、入学後の成績や出欠状況、あるいは本人の性格特性などとの関連性を分析した。その結果、卒業後の技術者志向の有無や、高専への入学目的などが重要であることが明らかになった。

以下に、各節のタイトルと概要を示す。

1. はじめに
2. 調査資料：各学年の成績や出席状況をもとに全体を区分した。
3. 高専入学時の意識：高専志望時の意識と入学直後の意識をもとに全体を区分した。
4. 高専入学後の勉学意欲：学習に対する意識をもとに、勉学意欲尺度を作成した。
5. 高専入学後の学校適応：学校への適応に関する意識から、適応感尺度を作成した。
6. 成績と勉学意欲の変動：成績と勉学意欲がどのように変動するかを分析した。
7. 高専入学後の技術者志向：技術者志向の有無と関連する要因について分析した。
8. 性格との関連性：各性格特性との関連性について分析した。
9. まとめと考察

なお、収録にあたり、頁の行数などのレイアウトや一部表現に若干の修正を加えた。

(2) 高専教員 41 年間の軌跡

[昭和 49 年 4 月～平成 27 年 3 月 (1974.4～2015.3)]

高専での教員生活 41 年間の中で発表した論文や著書・報告書等のリストを収録した。